

岐阜県立多治見高等学校

学 校 長 大嶽 和好
学 校 住 所 多治見市坂上町9-141 電話 0572-22-4155

- 1 会議の名称 岐阜県立多治見高等学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|--------|------------------|
| 委 員 | 久米 育太郎 | J R 東海多治見駅首席助役 |
| | 柴田 総江 | 多治見市子ども情報センター担当者 |
| | 若尾 淳子 | 本校育友会役員 |
- (委員名は五十音順)
- 学 校 側
- | | |
|-------|-------------|
| 大嶽 和好 | 校長 |
| 高木 久美 | 教頭 |
| 秋松 繁子 | 事務長 |
| 伊藤 昭嘉 | 教諭 (教務主任) |
| 田内 功 | 教諭 (生徒指導部長) |
| 今井 雅人 | 教諭 (進路指導部長) |
| 堀 裕邦 | 教諭 (特別活動部長) |
| 高森 賢 | 教諭 (保健厚生部長) |
| 西田 智子 | 教諭 (教務部) |
- 3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会や保護者などに説明責任を果たすとともに、要望や意見を幅広く聞き、地域社会からの支援・協力を得て、それを反映できる開かれた特色ある学校作りを推進する。
- 4 会議の開催 平成26年 2月18日(火) 13:30~16:00 多治見高等学校校長室
委員3人と学校側9人が出席

5 会議の概要

学校からの説明

○ (校長より)

本日はお忙しい中、ありがとうございます。日頃は本校の教育活動に、ご理解ご支援をいただきまして、ありがとうございました。本日は、一年の振り返りとして意見をいただけたとありがたいです。また、5限目の自然科学コース2年生の課題研究の発表会を見ていただきましたが、これについても次の展開に向けてのご感想や改善に向けての意見をぜひお願いしたい。

○ (教頭より)

「生徒及び保護者等を対象とするアンケート調査」の集計について
例年と比べて大きく変化をしてはいない。全体にもっと保護者の方へのアピールが必要である。学校の様子を広報する機会を増やしていきたい。特に家庭との連携を強化していきたい。
今年度は90周年の式典や100周年に向けてのHave a Dream Projectの佐藤真海さんの講演会など、生徒の心を元気にする機会を持つことができ、新しい取り組みをこれからもしていきたい。

○ (教務部より)

本年度のアンケート結果を見ると昨年とそれほど変化はないが、通信やホームページによる速やかな情報伝達の項目が、昨年度比生徒はマイナス14%であった。速やかな更新を心がけたい。また、今年度の目標達成のために教科研究会の実施や授業評価アンケートの実施などに取り組むことができた。言語活動の充実が不十分であった。生徒からのアンケート結果は職員の反省を促すものだった。3時間の自宅学習を目標としているが、定期考査前だけの達成で、平常時にそこまでの学習に取り組めないのが残念である。評価基準についての説明責任も果たしていきたい。

(生徒指導部より)

アンケート結果分析によると保護者よりも生徒の評価が低いので、生徒への伝え方を工夫していきたい。

体罰についてのアンケート結果に否定的な回答がみられるが、実態調査をすると出てこない。質問の仕方に紛らわしいところがあるせいかもしれない。

自律できる生徒の育成を目指し、遅刻や携帯電話への指導など重点的に取り組んだ結果、生徒に意識の高まりが見られる。特に遅刻はマイナス25%で、朝読書を今年から始めたので遅刻できない雰囲気もあると思われる。交通事故が増したが、すべてが自転車によるものであり、来年度はハザードマップの作成などに取り組み生徒の安全意識の伸長をはかりたい。

○(進路指導部より)

今年度の目標達成のために、補習メニューを増やし生徒が自主的に出られるようにしてきた。教員側が生徒へのアドバイスを適切に行えるように、志望校検討会を夏休み前にも行うようにした。推薦基準についても生徒の実態に合わせて見直していきたい。

模試が思ったように成果が出てこない。実際の入試結果でも国公立の推薦での合格者の数が39名出願し、14名の合格である。ただし昨年から減ったわけではなく合格率自体はあがっている。昨今の受験状況を見ると公募制の一般推薦がこれまでよりかなり厳しくなっている。私立大学で苦戦したのは国公立に向かない受験型での受験になったことも要因と思われる。全般にはよく健闘している。

「開かれた進路指導」として大学入学後の姿を描かせる指導を行った。卒業生サポート制度というのを行い、模試監督だけでなく生徒のアドバイザーとして、就職先も決まった大学生に2年生に話をしてもらった。保護者の進路説明会でも卒業生に語ってもらい育友会との連携もして好評だった。さまざまな講演会を行ったが、昨日の佛教大学の原先生の講演も非常に好評であった。毎月出している「さか草」という通信を学校のHPに載せるようになってから、中学や保護者、大学関係者などに見てもらっている。2年生のゼミ学習は大学の学びの先取りで、自分の進路検証の場として取り組んでいる。生徒の実態に合わせ柔軟な進路指導を行っていきたい。

○(特別活動部より)

アンケートでは部活動やボランティア評価が低いので、広報活動をしたい。

講演会の実施を通して生徒のスキルアップの一助としたい。Have a Dream Project 講演会実施など活動は多岐に渡っている。またさまざまな活動に参加する中で生徒の成功体験を通じて達成感を味わうことで自己実現を図っている。行事の満足度が高く、成就感・達成感を感じている生徒が多いことがうかがえる。今年度始めた生徒の自主的な取り組みであるあいさつ運動は今後定着できるかどうかはこれからの課題でもある。部活動には9割の程度が所属しており、高い加入率である。部活動でも結果を出しているがアピールまでいけていない。百周年に向けての行事を通じ、生徒に自信と誇りを持たせていきたい。

○(保健厚生部より)

トイレが改修され、校舎内も廊下など非常にきれいになり、環境の改善が図られた。

気象警報への対応について、早めに帰宅させるようにしたが、中には、寄り道をしたために駅で立ち往生した生徒が何人かいたようなので、速やかな帰宅を促すとともに、生徒一人一人に安全意識を持たせたい。

○(事務部より)

昨年3月末に県から公費私費のガイドラインが出され、保護者の方の負担を減らすように、県が負担すべきものと育友会でお願いするものを明確にした。本校の進学希望者が参考にできるように会計の状況をホームページで公開している。

学校評議員からのご意見・ご感想

- 意見 1 最近の子は人とのコミュニケーションが減少している。特別講師による講演会などで人の気持ちが分かるようになるのはよいと思う。
- 意見 2 お話にあったように、トイレが非常にきれいなり、全体に明るくなったと感じた。環境は子供たちにも大切なことである。学習において、卒業生のアドバイスなどをきっかけに大学卒業後を考えることは一番大切なことである。将来に向けての今を送ることが大切である。
生徒指導もきめ細かい指導で、身なりは大切だと思う。帰宅時に自転車は非常に危険なことがあり、ハザードマップはよい取り組みになると思う。
自然科学コースの発表はテーマの着眼点が面白い。テーブルの上の雑菌や音楽での大根の生長についての分析など、生徒も楽しんでできたのではないかと。発表の時にマスクをあごの下にずらして話していたのは気になった。まとめた資料は生徒は前もって目を通していいのか。事前に冊子を配ると質疑応答できてよいと思う。
- 意見 3 発表会は発想が面白かった。身近なものに目を向けているのは特によかった。広報不足というお話があったが、親も高校生になり、中学生までとは関わり方が変わっているところもあるので、認知が低くなってしまったところもあると思う。交通事故が増加したのは残念なこと。音楽を聴きながらの移動など、小中よりもマナーが悪い。スタントマンを使った講話などよいのではないかと。子ども同士で互いに伸ばす点を聞き合うのもよいと思った。子どもたちが先生たちの波に乗っていけるとよい。

生徒指導部より

いじめ防止法により、校内の組織作りを進めている。外部から保護者や専門の方に入ってもらふ必要がある。来年度以降協力をお願いしたい。

保健厚生部より

JRが大雨で運行停止になる基準はどのような感じか。

意見 4 区間によっても違うので一概には言えない。学校から駅に連絡をもらえれば、案内できる場所をお知らせしている。

6 会議のまとめ

ありがとうございました。各分掌でご意見等生かしていきたい。生徒は朝、緊張感を持って登校するが、下校時にはこれから自由な時間だと解放感から素の姿を見せている。評議員の方が見る姿がそうした素の姿だと思うので、これからはいろいろと教えていただければありがたい。

普通科として今後どのような特色化を図っていくか、学校全体としてのいいところをいろいろな形で作っていきたい。これからはご指導ご支援をお願いしたい。